

■ 阪神・淡路大震災から30年 田辺聖子さんの記録とともに震災を振り返る ■
企画展「何か私のできること 田辺聖子が残した震災記録」を開催

会期：2025(令和7)年1月6日(月)～3月11日(火) 田辺聖子文学館

大阪樟蔭女子大学(大阪府東大阪市)は、2025(令和7)年1月6日(月)～3月11日(火)に大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館にて、市立伊丹ミュージアム(伊丹市宮ノ前)との連携展示として、企画展「何か私のできること 田辺聖子が残した震災記録」を開催します。

本件のポイント

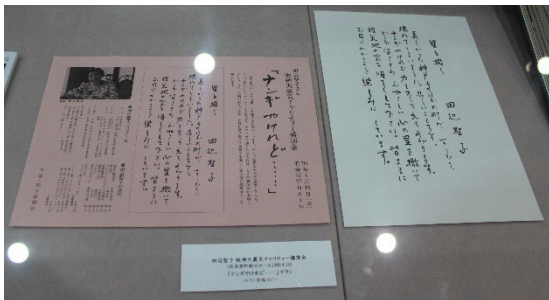
- 田辺聖子さんの遺志を引き継ぎ、阪神・淡路大震災の記録を現在に語り継ぐ
- 初展示の直筆原稿「よみがえれ神戸」をはじめ、田辺聖子さんが書き残した震災記録の数々を展示、当時を振り返る
- 市立伊丹ミュージアム(伊丹市宮ノ前)との連携展示

■ 難を逃れた田辺聖子さん自らが、「語り部」となって伝える阪神・淡路大震災

1995年1月17日、田辺聖子さんは、自宅のあった兵庫県伊丹市で被災しました。早朝であったため危うく難を逃れた田辺聖子さんは、「何か私のできること」はないかと考え、チャリティ講演会を開催、自らがこの大震災の語り部となり、自身の被災経験だけでなく、阪神・淡路大震災に関する資料を集め、書き残すことに努めてきました。田辺聖子文学館では、今年も田辺聖子さんの遺志を引き継ぎ、阪神・淡路大震災を今に伝えることを目的として本展を開催します。

今回の展示は、田辺さんの自宅があり、被災した地である伊丹市の市立伊丹ミュージアム(伊丹市宮ノ前)との連携展示になります。

本展では、今回初めての展示資料となる直筆原稿「よみがえれ神戸」をはじめ、さまざまな震災記、震災に関する資料を展示します。



阪神大震災チャリティ講演会関連資料



震災直後の田辺さんの書齋記録

田辺聖子文学館 企画展「何か私のできること 田辺聖子が残した震災記録」

- 日時：2025(令和7)年1月6日(月)～3月11日(火) 9:00～16:30
- 休館日：日曜・祝日・大学の休業日
- 場所：大阪樟蔭女子大学 緑翠館1階 田辺聖子文学館(大阪府東大阪市菱屋西4-2-26)
- 入場料：無料
- ▼ 大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館ウェブサイト
<https://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp/events/20230107.php>

【学芸員によるギャラリートーク(展示解説)】

- 日時：2025(令和7)年1月17日(金)・2月18日(火) 各日13:30～(40分程度)
- ※ 予約不要

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材・掲載のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<本リリースに関するお問合せ先> 学校法人樟蔭学園 学園広報課(担当：服部・高田)

TEL: 06-6723-8152(直通)(平日9時～17時) FAX: 06-6723-8263

E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp